

鉄道旅客運賃の改定申請について

当社は2月3日（月）、国土交通省中部運輸局あてに鉄道旅客運賃の変更認可申請をいたしました。申請理由および申請内容は次のとおりです。

記

1. 申請理由

伊豆急行線は1961年の開業以来、首都圏と伊豆東海岸を結ぶ鉄道路線として、観光のお客様をはじめ、地域の皆様に支えられながら安全運行とサービス向上に日々邁進してまいりました。

当社線の年間輸送人員は、1991年度の1千万人をピークに2019年度は475万人まで減少、2020年度には新型コロナウイルスの影響により256万人まで大幅に減少しました。

2023年度はコロナ禍の終息やインバウンド需要の回復などにより385万人まで回復しましたが、いまだコロナ前水準には届かず、依然として厳しい状況が継続しております。

このような状況下であっても、鉄道輸送の最大の使命である安全・安心をお客様へご提供するため、トンネル、橋梁、変電所等の施設・設備の改修や法面補強工事等の安全性の向上を目的とした設備投資を継続実施してきたほか、お客様の利便性向上として2009年度には交通系ICカードシステム（Suica）を導入、2020年度にはクレジットカード決済に対応しキャッシュレス化を推進してまいりました。

当社運賃におきましては消費税率引き上げを除き、1997年以来28年間に渡り長らく運賃改定を実施しておりませんが、コロナ禍による輸送人員の減少やエネルギー価格の急騰に対応するため、2023年3月に上限認可まで引き上げる運賃改定を実施しました。

しかしながら、今後の人口減少や観光需要の多様化などを勘案しますと、インバウンドの増加を考慮しても輸送人員の大幅な回復を見込むことは極めて困難であると考えております。また、物価上昇や人材確保等の経営環境の変化への対応に加え、当社が現在直面している車両や変電所設備などの大規模な更新投資を着実に実行していくためには、現行運賃のままではその所要額を十分に賄うことができないことから、安全・安心な鉄道サービスを将来に渡ってお客様に持続的に提供していくため、今般、旅客運賃改定の申請をすることといたしました。

2. 申請概要

(1) 申請日 2025年2月3日

(2) 実施予定日 2026年3月

(3) 改定内容

①【改定率】

定期外	定期			合計
	通勤	通学	計	
7.7%	0.0%	0.0%	0.0%	7.3%

※定期については通勤・通学共に据え置きといたします。

②【現行・申請運賃比較表】

○普通旅客運賃（定期外）大人

（単位：円）

キロ	普通（10円単位）			普通（1円単位）		
	現行	改定	運賃差	現行	改定	運賃差
1～4	170	190	20	168	185	17
5	220	250	30	220	242	22
6	250	280	30	251	277	26
7～8	340	370	30	335	369	34
9～10	420	470	50	419	462	43
11～12	500	560	60	503	554	51
13～14	590	650	60	587	646	59
15～16	680	750	70	682	750	68
17～18	780	860	80	775	853	78
19～20	870	960	90	870	958	88
21～22	960	1,070	110	964	1,061	97
23～25	1,060	1,170	110	1,058	1,164	106
26～28	1,150	1,270	120	1,152	1,268	116
29～31	1,250	1,380	130	1,247	1,372	125
32～34	1,340	1,480	140	1,342	1,476	134
35～37	1,440	1,580	140	1,435	1,579	144
38～40	1,520	1,680	160	1,519	1,672	153
41～43	1,600	1,770	170	1,603	1,764	161
44～46	1,690	1,860	170	1,687	1,856	169

3. 鉄道部門収支の実績および推定

（単位：千円）

	令和5年度	令和8～10年度（3年間合計）	
	実績	現行	申請
収入	3,633,392	11,593,454	12,300,754
支出	3,534,982	12,760,709	12,760,709
差引損益	98,410	△ 1,167,255	△ 459,955
収支率	102.8%	90.9%	96.4%

※申請上の計算方式によるものであり、実際の収支とは異なります。

4. 運賃収入内訳

(単位：千円)

	令和5年度	令和8～10年度（3年間合計）	
	実績	現行	申請
定期外	2,809,088	9,190,654	9,897,954
定期	194,416	523,459	523,459
合計	3,003,504	9,714,113	10,421,413

5. 需要見通し

(単位：千人)

	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
	実績	推定	推定	推定	推定	推定
定期外	2,758	2,947	2,931	2,915	2,898	2,882
定期	1,093	1,057	1,021	984	948	912
合計	3,851	4,004	3,952	3,899	3,846	3,794
前年比	111.2%	104.0%	98.7%	98.6%	98.6%	98.7%

6. 設備投資の実績および計画

(1) 設備投資実績・計画

(単位：百万円)

	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
	実績	計画	計画	計画	計画	計画
安全対策	317	438	432	548	496	578
サービス改善その他	299	425	480	893	750	394
合計	616	863	912	1,441	1,246	972

(2) 主な投資計画の内容

- ・ 法面補強工事（富戸駅～城ヶ崎海岸駅ほか）
- ・ 自動列車停止装置更新（ATS-P化）
- ・ 変電所機器更新（伊豆高原変電所ほか）
- ・ 電力管理システム更新
- ・ 列車運行管理システム更新
- ・ 車両更新
- ・ ICカードシステム機器更新

7. これまでの経営合理化と今後の取組み

当社では運行費用削減策として、組織再編や現業区の統廃合をはじめ、短編成化によるワンマン運転や無人駅化を行い必要人員の見直しを実行したほか、消費電力の少ないVVVFインバータ制御車両を新たに導入するなど、運行コストの低減を図ってまいりました。今後ともお客様の利便性に配慮しながら、経営の効率化に努めてまいります。

8. 運賃多様化の取組み

・観光のお客様への利便性提供

特急を含む全線1日乗り放題の「伊豆満喫フリーきっぷ」や、伊豆の特産品である金目鯛料理とフリーきっぷがセットになった「金目きっぷ」を発売しております。

・沿線のお客様の利用促進

沿線小中学生を対象とした「こどもきっぷ」「中学生きっぷ」のほか、シニア向けの乗り放題型定期券「アクティブパス」等を発売しております。

9. 利用者サービスの向上策

・キャッシュレス決済の推進

当社では全国で相互利用可能な交通系ICカード「Suica」を導入しているほか、駅窓口ではクレジットカード決済も利用可能です。また、沿線学生向け「学期通学定期券」等ではスマートフォンで購入・利用可能なデジタルパスを導入しており、駅に出向かずに定期券を購入することができます。

・車両更新の推進

経年の進んだ既存車両を計画的に更新してまいります。更新にあたっては消費電力の少ないVVVFインバータ制御車両を選定し、運行コスト低減とあわせ環境負荷の軽減も図ってまいります。

10. お問い合わせ先

(1) 伊豆急行株式会社 事業統括部 統括課 電話0557-53-1111
<営業時間> 月～金 9:30～17:30 (土休日を除く)

(2) ホームページ

<https://www.izukyu.co.jp/>

以 上

本リリースに関するお問い合わせ先

伊豆急行株式会社 事業統括部 電話：0557-53-1111



伊豆急行株式会社